

# 農地・水・環境保全だより第33号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

## 「多面的機能の維持・発揮活動 第10回みえのつどい」が開催されました ～ふるさとの未来を担う、それは地域力！！～

平成29年12月16日（土）三重県総合文化センターにおいて、県内の活動組織や県内外の関係者約1,500名が一堂に会して、「ふるさとの未来を担う、それは地域力！！」をテーマに、第10回みえのつどいが三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催されました。

今回は、地域での活動をより一層活発に取り組むとともに地域ぐるみで実践する獣害につよい地域づくりの推進を目的とした「獣害につよい三重づくりフォーラム」との同時開催となりました。

まず、全体会を大ホールで、その後同センター内で4つのテーマに分けた分科会を開催しました。

全体会では、主催者を代表して鈴木三重県知事より挨拶があり、引き続き来賓の挨拶や紹介がありました。その後、本年度に受賞された優秀活動組織の概要がスクリーンで紹介され、表彰式に移り優秀活動に選ばれた5組織の代表に賞状と記念品が授与された後、優秀活動組織の代表者と主催者代表と来賓を囲み記念写真の撮影を行いました。



鈴木三重県知事 挨拶



優秀活動に選ばれた5組織のみなさんと鈴木三重県知事、福岡三重県農地・水・環境保全向上対策協議会副会長、水谷三重県議会副議長との記念撮影



全体会の様子

さらに「みんなで守ろう三重の大地、よりよい地域づくりに向けて！」をテーマとしたフォトコンテストでは、2部門で最優秀賞1作品、優秀賞1作品が発表され、賞状と副賞が事務局より授与されることが報告されました。

引き続き基調講演に移り、「これからの地域社会のための獣害対策」と題して、兵庫県立大学教授山端直人氏よりご講演していただき、全体会は終了しました。

その後休憩を挟み、参加者はおのおの希望したテーマの分科会会場へ移動しました。

第1分科会では、「県内の取組事例、獣害関係企業PRブース」をテーマに、県内でこの事業を期に地域活性化に取り組んだり、農村環境保全活動において特徴的な活動をしている2組織、さらに獣害対策に取り組む優良活動の事例紹介がありました。また、別会場では獣害対策資材・製品展示、パネル展示ブースを設けました。



第1分科会の様子



第2分科会では、「むらに応援企業を呼び込もう！～企業と連携したむらづくり～」をテーマに、農村を応援する企業との連携により、地域を活性化させる道筋を考えるワークショップを実施しました。

第2分科会の様子

第3分科会では、「より良い地域づくりに向けて～次世代リーダーへの継承～」をテーマに、活動の継続のために必要なこと、また若い世代・農業者以外・女性を巻き込んだ活動を展開していくための方法についてワークショップを実施しました。

第3分科会の様子



第4分科会の様子

第4分科会では、「実践活動（安全対策・畦畔保全・補修メンテナンスの説明等）」をテーマに東海農政局の安里室長より活動における安全対策についての報告を、全共連の担当者からは活動にかかる保障についての案内を、企業からは活動に必要なとなる製品等の紹介がありました。説明終了後の意見交換では、参加者は興味あるブースに自由に移動し、担当者からおのの疑問点等の説明を受けていました。

盛会のうち分科会も終了しました。

また、会館内ではフォトコンテスト応募作品の展示、三重県PRブース等が設けられ、参加者は時間の合間を見計らって見入っていました。

また、一般の方を対象とした農産物の無料配布も行われ、好評を博していました。

優秀活動組織

部門名	活動組織名	市町名
施設部門	清し有田佐田沖環境保全会	玉城町
農村環境部門	矢川環境保全会	名張市
コミュニティ部門	大野木環境保全会	伊賀市
パブリシティ部門	東大淀を守る会	伊勢市
地域共同活動部門	田尻町農地管理会	伊勢市

フォトコンテスト入賞組織

部門名	作品名	活動組織名	市町名
維持保全活動部門	最優秀賞	そんなに寄ってたら危ないっちゃん	清流の里 山口
	優秀賞	獣害対策 車座の協議	牧・集落営農部会、地域資源保全会
農村環境活動部門	最優秀賞	真夏の掃除は、びしょ濡れが楽しいね！	智積農地水環境を守る会
	優秀賞	どんな魚がいるかな？	三郷の土と水を守る会



東海農政局「多面的機能支払 シンポジウム」開催  
 ～農村協働力による農地・水の適切な保全管理～

12月5日（火）に名古屋市西区の名古屋市西文化小劇場において、東海三県の多面的機能支払の関係者約300名が参加し、「多面的機能支払シンポジウム」が開催されました。

まず、東海農政局幸田淳局長の開催挨拶の後、引き続き表彰式に移り東海農政局農村振興皆川猛部長より受賞組織発表と受賞理由の講評がありました。

三重県から受賞されたのは、東海農政局長賞に松阪市の【美濃田環境保全会】中日新聞社賞に玉城町の【清し有田佐田沖環境保全会】で講評後、受賞組織が壇上に上がり幸田局長から表彰状が授与されました。



受賞された活動組織の記念撮影



局長賞を授与される【美濃田環境保全会】の田中代表



新聞社賞を授与される【清し有田佐田沖環境保全】の大藪会長

賞名	組織名	県名	市町名
東海農政局長賞	美濃田環境保全会	三重県	松阪市
全国農村振興技術連盟賞	古川町気多の水と土を守る会	岐阜県	飛騨市
中日新聞社賞	清し有田佐田沖環境保全会	三重県	玉城町

表彰式の後、農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究部門農地基盤工学研究領域の原口暢朗領域長より「営農を支える生産基盤づくりの技術動向について」と題しての基調講演があり、その後「取組事例発表」と題して、管内の2組織（愛知県：田峯環境保全会、三重県：東大淀を守る会）がそれぞれ発表し、三重県の【東大淀を守る会】の西村潔子さんが「明るい町づくりの輪を広げよう」と題し、組織の概要や女性を中心としたEM石鹸作り・EM培養液一斉放流等の特徴的な活動を紹介し、最後に国開催の地域資源保全女子プロジェクトに参加して、女性の協力は不可欠であると改めて認識し今後、活動の参加の呼びかけには「女性の方もどんどん参加して」との一言を付け加え、女性が活動に参加しやすい環境を作っていただきたいと訴えられ、大いに参考になる報告であった。



【東大淀を守る会】の取組を発表される西村さん

続いて東海農政局土地改良技術事務所の槻瀬誠氏が「農業水利施設の機能診断及び補修について」と題しワンポイント研修を行いその後、東海農政局津垣修一局次長の閉会の挨拶があり盛会裡に閉会した。

## 第2回 多面的機能活動伊賀・名張のつどい』を開催しました！！

「頑張ってください〜い！」「応援します〜！」声援が飛び交い、沢山の拍手の基調講演。「第2回多面的機能活動 伊賀・名張のつどい」が平成29年11月8日雨の中始まりました。今回は名張市松崎町 ADS ホールで、管内で活動している87組織と関係者合わせて約400人の参加があり大規模に開催されました。

開会の挨拶の後、「第1回あなたのふるさと自慢フォトコンテスト2017」の表彰式があり、応募数77作品中入賞5作品を壇上で表彰、記念品贈呈、作品の総評の後に記念撮影を行いました。



基調講演では、滋賀県近江八幡市より NPO 法人・百菜劇場の廣部里美さんが「農業女子と地域の農業」と題し、ご自身は非農家でありながら、滋賀に移住され「NPO 法人百菜劇場」の運営に携わり農地を借りて新規就農され、悪戦苦闘の日々の中で自分から地域の仲間に入り地域活動に参加し、地域の方々の助けを得ながら今の自分を支えて頂いている。現在、インターネットで農業女性の仲間を増やし、ネット販売も手がけており好評です。

自分のビジョンは【誰もが農業に関われる舞台をつくる】と掲げられる講演に、農業の後継者問題に悩む会場内の構成員の方々の共感を呼び、大きな声援と拍手を頂き、後のアンケート結果にも大反響を得ました。

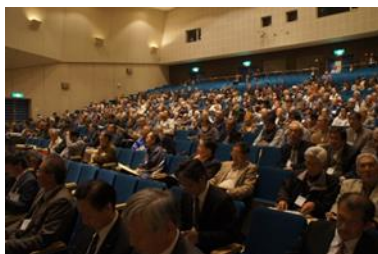
続いて3組織による事例発表を行いました。

1組目は、伊賀市猪田のおおひがし環境保全会が「活動の手引き」を作成し、誰が、いつ、どこで、何をしたかの写真を添付し報告。取組みのコード化や共有化を図り、安全に且つ明確に地域の活性化に取り組んでいます。

2組目は、名張市滝の原の滝の原農地・水・環境保全活動隊からは、「地域活性化の活動力は女子力！」と称し、活動と情報の発信を地域新聞で発行しており、廃校小学校を活用し自然栽培教室や農業の体験希望の若者を受け入れ、地域全体の問題や生活を改善する活動をこれからも続けていくとのことでした。

3組目は、伊賀市西山の西山ふるさと保全会からは、毎月1回以上の「耕作放棄地を共同で除草・耕作し農地復元」の活動をしており、高齢化や高台の山間地である為、農道の路肩修復、獣害対策、シイタケ栽培を核にイベント開催し、地域一丸となって取り組んでいます。

最後は、松阪市伊勢寺地域環境保全向上活動をする会の新山勝保氏による「池ごね等の事例報告」と題し、在来魚を食べてしまう外来魚の駆除活動の内容や小学校・幼稚園・保護者・地元消防分団の協力のもと行われる「池ごね」は地域の行事にもなっており、終了後は外来魚の名前や生態の学習を行い、アマゴ掴みを行って地域の交流を図っているとの講演をして頂きました。



会場2階のロビーでは、フォトコンテスト応募作品や広報誌など活動内容の説明を展示し、見入る参加者の方が多く、その前で写真を撮られる組織もあり、後のアンケートにも好評を得ていました。雨の肌寒い日でしたが、会場内はとても暑い一日となりました。